

# 事業評価シート（平成25年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	相模小学校移転整備事業		
事業担当	学校教育部 教育施設課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'06	6 教育施設・機能を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者			事業期間
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
相模小学校の移転がなされ、地元の児童や住民の利便性が高まっています。		隣接校解消のため、相模小学校の移転を推進します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	事業進捗率(平成25年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成29年度を100%とした進捗率。H25:地元地域と協議及び庁内調整・基本計画作成20%、H26:建築設計10%、H27:用地取得・地質調査・建築設計等15%、H28:用地取得・校舎及び体育館建設工事等30%				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標			20	30	
	実績			20		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
「相模小学校移転プロジェクト会議」による地元地域との協議および庁内調整を進め、「相模小学校移転基本計画」を策定しました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	環境事業センターの建設に伴う「合意書」に基づき実施する事業であるため、実施の必要性は非常に高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業実施は地元住民の要望によるものであるため、隣接校の解消がなされれば、市民満足度はかなり高まるものと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	環境部と教育委員会に関連する事業であるため、業務の執行体制を明確にし、それぞれの業務を着実に推進していきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	地元および庁内との綿密な連携が不可欠であり、スケジュール管理を行いながら、効率的に検討を進める必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 今後、ツインシティ大神地区土地区画整理事業と連携を図りながら、建築設計等の移転に向けた準備を進めていく必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		測量	地元地域と協議及び庁内調整	地元地域と協議及び庁内調整、基本計画作成	建築設計
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	27,000
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	15,750	9,000
事業費 (A)		0	0	15,750	36,000
執行率 (%)		—	—	96.90	
内訳	職員 (人)	0.34	0.60	1.40	1.85
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,756	4,809	11,128	14,455
フルコスト (A+B)		2,756	4,809	26,878	50,455

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成27年度の取組方針</b> 移転に向けた建築設計を進めつつ、土地区画整理事業と連携を図りながら、用地取得や地質調査に着手します。
<b>課長コメント</b> 今後も関係各部と十分協議を行いながら、事業を進めていきます。